

たなべ 未来 創造塾

1～9期活動報告書
(改訂版)

ローカル
イノベーターたちが
地域を救う

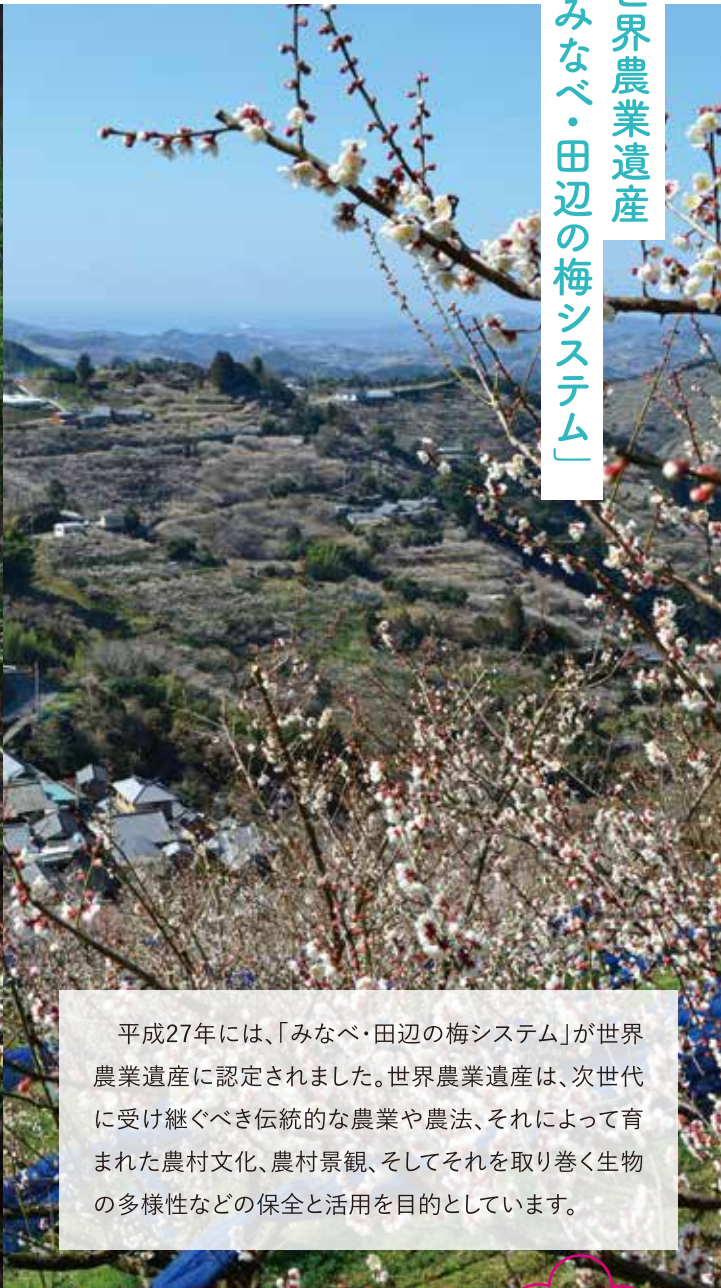
自分たちが住む地域は自分たちで変えよう





世界文化遺産
「紀伊山地の霊場と参詣道」

平成16年には、「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界文化遺産に登録されました。和歌山県・奈良県・三重県にまたがる3つの霊場（熊野三山、高野山、吉野・大峯）とそこに至る参詣道（熊野参詣道・高野山町石道・大峯奥駈道）及びそれらを取り巻く文化的景観が評価されたものです。さらに平成28年には、闘雞神社と熊野古道のうち未登録だった長尾坂、潮見峠越、北郡越、赤木越が新たに世界遺産となっています。



世界農業遺産
「みなべ・田辺の梅システム」

平成27年には、「みなべ・田辺の梅システム」が世界農業遺産に認定されました。世界農業遺産は、次世代に受け継ぐべき伝統的な農業や農法、それによって育まれた農村文化、農村景観、そしてそれを取り巻く生物の多様性などの保全と活用を目的としています。

和歌山県田辺市

平成17年5月1日、5市町村の合併により誕生した田辺市は、紀伊半島の南西側、和歌山県南部に位置する近畿最大の行政区域を有するまちです。

みなべ町、印南町、日置川町、有田川町、奈良県野迫川村・十津川村、新宮市、古座川町、上富田町、白浜町にそれぞれ隣接しており、西よりの海岸部に都市的地域を形成、そこから東向きに森林が大半を占める中山間地域が広がっています。主な水系としては日高川水系、富田川水系、日置川水系、熊野川水系の4水系を抱える広大な圏域です。

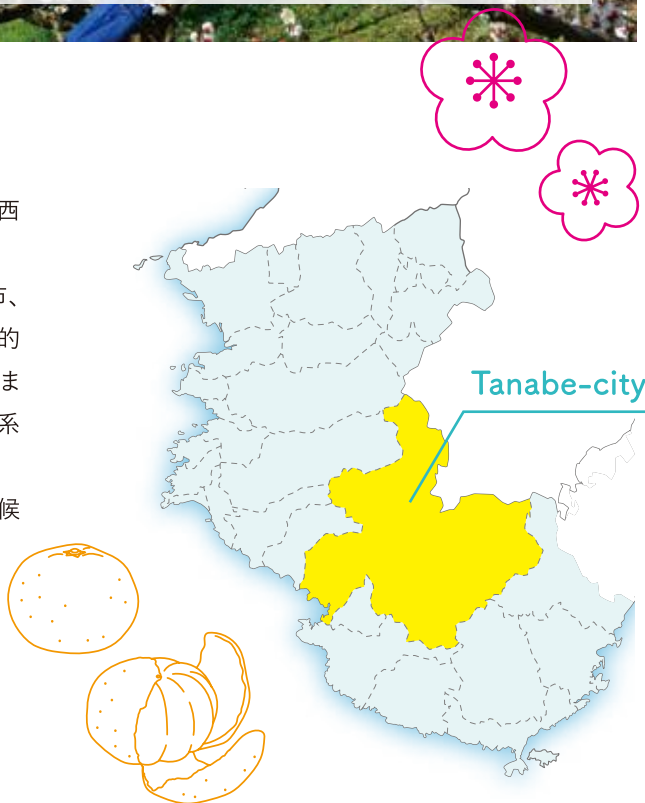
気候は、海岸部の温暖多雨な太平洋型気候から山間地における内陸型の気候まで広範囲にわたっています。

総面積：1026.89km²（東西約46km、南北約47km）

※令和7年4月1日現在の国土地理院公表値

総人口：69,870人 男：32,790人 女：37,080人 世帯数：31,215世帯

※令和2年10月1日現在、国勢調査による



地方創生に向けて

国では、東京の一極集中を是正し、地方の人口減少に歯止めをかけ、それぞれの地域が特徴を生かした自律的で持続的な地域社会の形成を目的に「地方創生」を積極的に推進しています。

田辺市では、全国平均より早いスピードで人口減少が進むと予測されており、内需依存型の経済構造を有する地域のため、人口減少は地域経済に大きなダメージを与えることが明らかとなっています。

さらに、人口減少や少子高齢化が起因となり、空き家や空き店舗の増加、地域の担い手不足など多くの地域課題を引き起こしています。

このような情勢の中、地域に人が住み続けるためには、田辺市の地域課題や自分の課題は何かを見つけ、それらを解決するための接点を見出し、自分の強みや、地域の強み（地域資源）を活用しながら、新たな価値を生み出していくローカルイノベーターが数多く生まれ、それぞれが交わり、結びついていく必要があります。

田辺市では、こうした一人ひとりの取組の積み重ねが、地域の大きな推進力となり、新たな地域づくり、まさに「地方創生」につながるものと確信しています。

キーワードはCSV（共通価値の創造）、ソーシャルビジネス、ローカルイノベーション…

さあ、未来に向けて、新たな一歩を踏み出そう！

CONTENTS

- 1 2つの世界遺産があるまち、田辺市
- 2 地方創生に向けて
- 3 たなべ未来創造塾の背景
- 4 人材育成を「戦略プラン」の柱に
- 5 地域みんなで支える。産学官金が一体となった支援体制
- 6 段階的に学び、自らが考える。ビジネスプラン構築に向けた実践的プログラム
- 7 第1期～9期概要
- 16 修了生のその後
- 26 講師陣&運営スタッフ



田辺市長 真砂充敏
（たなべ未来創造塾長）

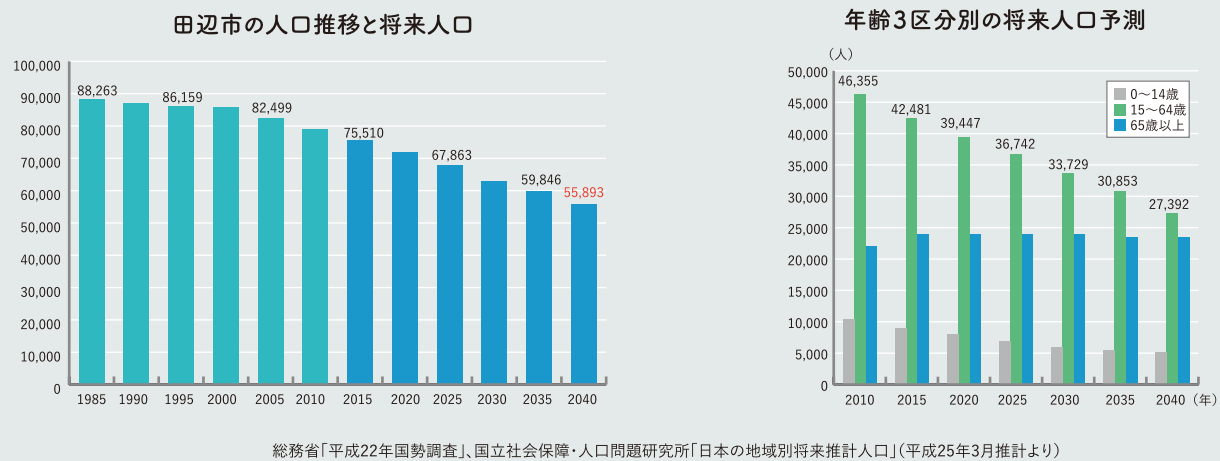


たなべ未来創造塾の背景

田辺市では、平成26年度に世界遺産登録10周年、平成27年度に合併10周年という大きな節目を迎えることから、これらを絶好の機会と捉え、平成26年4月より、「たなべ営業室」を設置し、市そのものの価値を高める「価値創造プロジェクト」を推進してきました。

その取組の大きな柱の一つとして、全国的な人口減少社会の到来と急速な少子高齢化が進展する中、持続可能な地域の形成を目指し、「交流人口の増加」と「地域経済の活性化」を目標とした「価値創造戦略ビジョン・戦略プラン」を策定しました。（注：資料は「価値創造戦略ビジョン・戦略プラン」策定時のもの）

< 戦略ビジョン・戦略プランの概要 >



田辺市の人口は、全国平均よりも速いスピードで減少が続いている一方で、65歳以上人口は今後も減少しないと予測されています。

田辺市の産業別市内総生産（2011年度）

産業の特性		地域住民の減少と連動して、規模が縮小していく産業							交流人口で稼ごうる産業
（単位：百万円）		建設業	電気・ガス水道業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産業	運輸業	情報通信業	サービス業
田辺市	実額	19,767	6,255	36,439	11,526	25,768	5,701	7,415	53,952
	構成比	8.7%	2.8%	16.0%	5.1%	11.3%	2.5%	3.3%	23.7%
和歌山県	実額	199,641	72,296	348,972	143,639	426,495	134,962	100,350	599,919
	構成比	5.7%	2.1%	9.9%	4.1%	12.2%	3.9%	2.9%	17.2%
（参考）和歌山市	実額	60,305	34,577	161,723	78,805	197,659	56,809	45,540	255,025
	構成比	3.6%	2.1%	9.8%	4.8%	11.9%	3.4%	2.7%	15.4%

産業の特性		地域住民が減少しても、地域外への 販路拡大によって稼ごうる産業							
（単位・百万円）		農業	林業	水産業	鉱業	製造業	政府サービス 生産者	対家計民間 非営利サ ビス生産者	小計
田辺市	実額	5,739	631	1,064	101	16,941	30,447	5,572	227,318
	構成比	2.5%	0.3%	0.5%	0.0%	7.5%	13.4%	2.5%	100.0%
和歌山県	実額	66,750	2,270	7,222	1,128	986,259	367,174	79,972	3,484,450
	構成比	1.9%	0.1%	0.2%	0.0%	28.0%	10.5%	2.3%	100.0%
（参考） 和歌山市	実額	5,515	57	237	0	562,519	165,980	33,571	1,658,323
	構成比	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.9%	10.0%	2.0%	100.0%

和歌山県「平成23年度市町村民経済計算」より作成

田辺市は紀南地域の拠点都市という特性と人口集積を背景として、内需依存型の経済構造を形成してきました。田辺市内の総生産額に占める卸売・小売業とサービス業の比率はそれぞれ16.0%と23.7%で、和歌山県の平均や和歌山市の値を大きく上回っています。田辺市は周辺地域に財・サービスを提供することで地域経済が成り立つ商業都市としての性格が強く、人口減少と連動して経済規模も縮小していくことが予想されています。

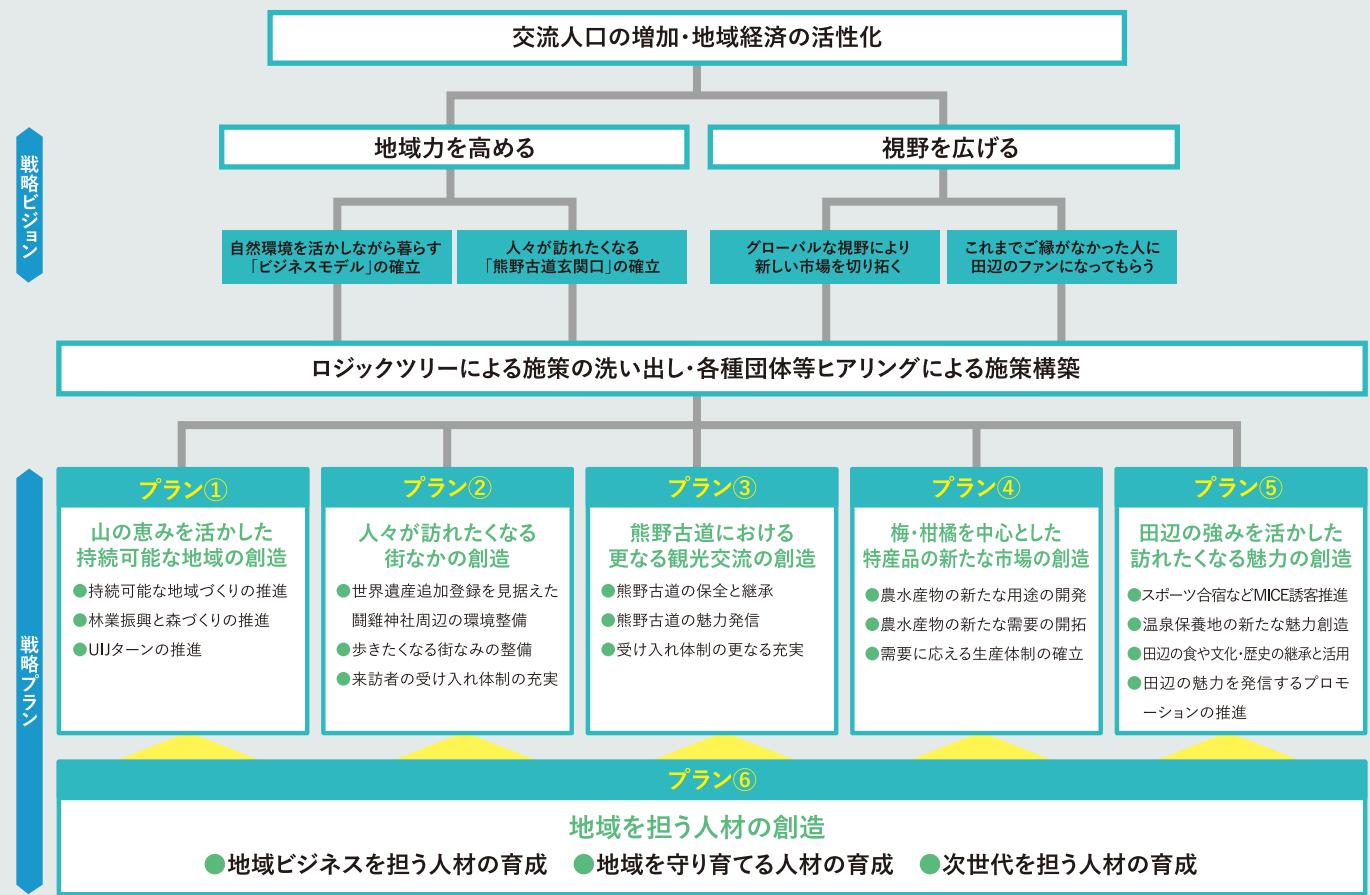
こうしたことから、「戦略ビジョン・戦略プラン」では、「交流人口の増加」と「地域経済の活性化（外貨獲得と地域経済循環）」を目標に掲げ、各種施策を構築することといたしました。



人材育成を「戦略プラン」の柱に

< 戦略プランにおける施策一覧表 >

「交流人口の増加」と「地域経済の活性化（外貨獲得と地域経済循環）」に向けて、戦略ビジョンにおいて定めた基本方針のもとに、ロジックツリーによる施策の洗い出しや各種団体へのヒアリング等を通じて、下記の6つのプラン19施策を導きだし、「戦略プラン」の柱として、たなべ未来創造塾を【プラン⑥】「地域を担う人材の創造」における「地域ビジネスを担う人材の育成」に位置付ける中で、取組を進めることといたしました。



社会情勢

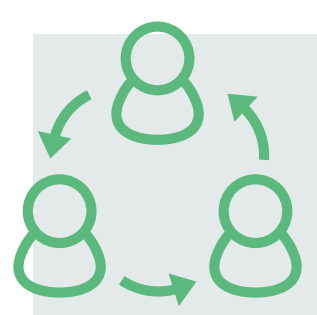
地域の産業政策における行政の役割は、行政自らが中心となって産業の誘致や推進を構想・実現することを主眼としていた従来型とは異なり、民間主体によるビジネスマインドの誘導やサポート、クラスター形成等による地域産業集積の活用等に期待が高まっています。

こうした考え方は、平成27年8月に示された「国土形成計画」においても、地域発のイノベーションを契機とした新産業の創出や既存企業の高付加価値等、内発的発展を促すことが重要であるとして、地元事業者のニーズに対応した教育・研究プログラムの実践に努め、地域産業を担う人材を育成する取組や、こうした取組を通じ、「起業増加町」を増やしていくことを推進しています。

地域課題の解決と地域経済の活性化に向けて

田辺市では、これまでの経過、社会情勢を踏まえ、空き家や空き店舗の増加、地域の担い手が不足するなどの地域課題の解決や、世界遺産「熊野古道」、世界農業遺産をはじめとする多くの地域資源の活用に向け、企業の営利活動との共通項を探し出し、本業を生かしてできるビジネスモデルの創出、ビジネスリーダーの育成を目指した「たなべ未来創造塾」を平成28年度に創設いたしました。

段階を経ながら人材を育成することにより、ビジョン構築能力、リーダーシップ、意志力、行動力等の資質の習得並びにプロジェクト創出による地域課題の解決と地域経済の活性化の実現、地域の担い手育成、CSV（共通価値の創造）の醸成に向け、取り組んでいます。



地域みんなで支える。 「産学官金」が一体となった組織体制

日本政策金融公庫田辺支店との経営者育成に係る連携協定

田辺市と日本政策金融公庫田辺支店では、「たなべ未来創造塾」の実施にあたり、カリキュラム作成や講師選定、塾生候補者の紹介、塾生へのヒアリング同席及び助言など連携した取組を実施するとともに、塾の進捗状況にあわせて公庫主催の各種講座の開催や個別融資相談などを連動させることで一体となった取組を実施してまいりました。

その結果、第1期生から空き家をリノベーションする事例が生まれ、日本政策金融公庫田辺支店は、無担保・無保証で700万円の融資を実行いたしました。

今後、こうした動きをさらに加速させていくため、田辺市内の事業者の産業振興に寄与する事業の実施に努めることを目的に、平成29年5月に「経営者育成に係る連携協力に関する協定書」を締結し、融資事例が次々と生まれています。



地方創生人材育成の連携に関する協定及び覚書締結

平成28年1月に富山大学地域連携推進機構と田辺市の間で「人材育成の連携に関する覚書」を締結し、たなべ未来創造塾の運営を行ってまいりました。

その後、指導いただいている金岡省吾教授が熊本大学熊本創生推進機構に転任されたことから、令和3年8月に新たに熊本大学熊本創生推進機構と日本政策金融公庫田辺支店、同八代支店、八代市、田辺市との間で「地方創生人材育成の連携に関する覚書」を締結し、産学官金が連携した支援体制を構築したうえで、遠隔地でノウハウ共有をしながら、たなべ未来創造塾の運営に取り組んでいます。



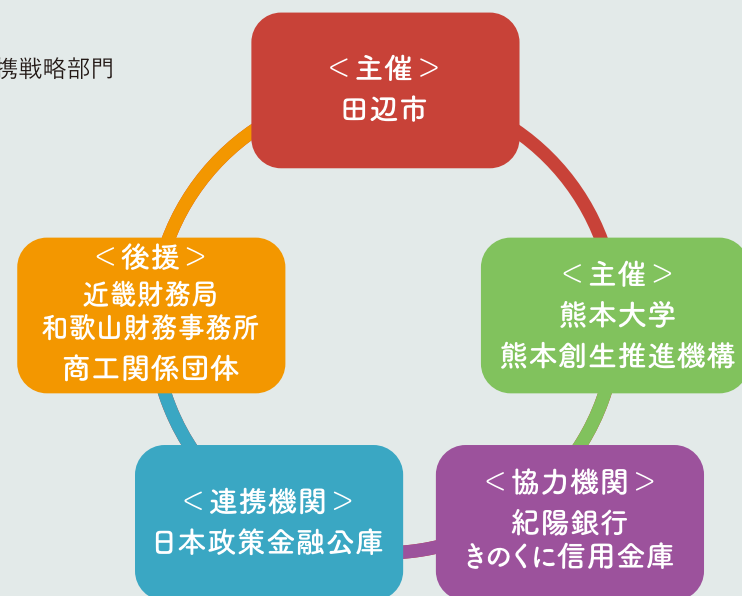
田辺市と、熊本大学研究開発戦略本部地域連携戦略部門が主催となり、地元金融機関、関係機関等にも参画頂く中で、「産学官金」が一体となった運営体制を構築し、塾生の新たな挑戦を支援しています。

<主 催> 田辺市、熊本大学 研究開発戦略本部 地域連携戦略部門

<連携機関> 日本政策金融公庫田辺支店

<協力機関> 紀陽銀行田辺支店
きのくに信用金庫田辺支店

<後 援> 近畿財務局和歌山財務事務所
和歌山県(西牟婁振興局)
和歌山県信用保証協会
田辺商工会議所
牟婁商工会
龍神村商工会
中辺路町商工会
大塔村商工会
本宮町商工会



段階的に学び、自ら考える。 ビジネスプラン構築に向けた実践的プログラム

専門家や実践者などによる講義を開催するとともに、塾生同士のディスカッションを通じて、地域課題や自分の課題を深く掘り下げること、塾生自らが具体的なビジネスプランを考えていきます。

基礎知識の習得	コミュニティビジネス、ソーシャルビジネス、CS V、クラスターなどの知識を学ぶとともに、全国の様々な事例を参考にしながら、ローカルイノベーションの最前線を学びます。	 
ケーススタディ	地域課題の解決や地域資源を活用したビジネスの実践者から具体的な取組やノウハウについて講義頂くことで、地域課題・自社の課題は何か、自社の強み・活用できる地域資源は何かを考えていきます。	 
ビジネスプランの構築（演習）	ヒアリングやワークショップなど演習を通じて、課題の抽出やコンセプトを具体的なビジネスプランに落とし込み、塾生同士のディスカッションを通じて、何をすれば自分の企業が生き残れるかを考えていきます。	 
ビジネスプランの発表（修了式）	金融機関や関係機関、市関係者、報道機関等に出席頂く中で塾生自らが考えたビジネスプランを発表します。	 



大学生フィールドワーク



セミナー「地域の編集学校」



活動報告会

修了式が終わりではない

修了後も、活動報告会やセミナーなどを通じて、ブラッシュアップするとともに、塾生同士が継続的に連携を図っています。また、ビジネスプランを実践した修了生が、たなべ未来創造塾や高校、大学などに講師として出向き、次の担い手を育成しています。



たなべ未来創造塾とたなこアカデミーの交流会

第1期

平成28年7月～平成29年2月

第1期生



赤田 政則
(AKARI〜熊野コネクトショップ〜)



岡本 和宜
(岡本農園/(株)日向屋)



竹林 陽子
(Colographical)



横田 圭亮
(株)横田



榎本 将明
(有)榎本家具店



金丸 知弘
(食品加工・販売 CONSERVA)



中村 文雄
(株)中村工務店



吉本 健
(美吉屋旅館)



円座 史人
(介護福祉士)



喜田 義人
(株)紀伊民報



堀 将和
(株)堀忠商店

※事業所名は、受講当時のものとなります。

カリキュラム

日程	カリキュラム	講師等
開講式 7/16(土)	オリエンテーション、座談会など	田辺市長、富山大学副学長ほか
2日目 8/6(土)	地域活性化論①～小さな拠点、新たな公、CSV～ ・地域活性化とは	富山大学地域連携戦略室長 教授 金岡省吾
3日目 8/20(土)	地方創生から考える地域課題と地域活性化 ・データから見る地域課題とは	(株)日本能率協会総合研究所 主幹研究員 塩見一三男
4日目 9/3(土)	世界遺産熊野古道の価値をビジネスチャンスに ・インバウンドのビジネスチャンスを探る	田辺市熊野TB 会長 多田稔子 田辺市観光振興課
5日目 9/10(土)	津屋崎ランチの取組を通して ・討論から対話へ、常識を疑う、発明家の発想	津屋崎ランチLLP 代表 山口 寛
6日目 10/8(土)	地域資源を生かした新たな価値創造 ・熊野米プロジェクト、くまみつかステラ	(株)たがみ 田上雅人 パニラカフェ 芝ゆかり
7日目 10/22(土)	秋津野ガルトンの挑戦 ・地域課題の解決をビジネスの手法で考える	秋津野ガルトン (株)秋津野 代表取締役社長 玉井常貴
8日目 11/5(土)	地域活性化論②～これまでの復習、CSV～ ・子育て世代の移入とビジネスの両立	富山大学地域連携戦略室長 教授 金岡省吾
9日目 11/19(土)	超高齢社会ビジネスの可能性 ・地域包括ケア時代の生活支援市場を展望する	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 上席主任研究員 岩名礼介
10日目 12/3(土)	<演習①>ワークショップ ・自社、地域の課題抽出	(株)リンクアンドモチベーション シニアコンサルタント 玉井淳平
12月	運営事務局による塾生へのヒアリング・相談 ・各1時間程度	運営事務局
11日目 1/7(土)	<演習②>一行コンセプト ・5分でのプレゼン&ディスカッション	運営事務局
12日目 1/21(土)	<演習③>三行コンセプト ・3分でのプレゼン&ディスカッション	運営事務局
13日目 2/4(土)	<演習④>中間プレゼン ・3分でのプレゼン&ディスカッション	運営事務局
修了式 2/18(土)	最終プレゼンテーション、修了証授与、座談会 ・3分でのプレゼン、ポスターセッション	田辺市長、富山大学副学長ほか



第2期

平成29年8月～平成30年2月

第2期生



浅賀 由貴乃
(焼きたてばんD'oh!)



稲田 卓史
(とらや薬局)



中川 雅也
(株)中川



野久保 太一郎
(千秋園)



石崎 源太郎
(とりとんファーム)



田中 弘志
(土地家屋調査士田中事務所)



中島 康代
(中島大介設計工房)



登坂 知広
(アップライフ(株))



石山 登啓
(株)高垣工務店



田上 太輝
(農家イタリアン sorriso)



中山 智文
(atelierbobo)



瀧田 元輝
(青潮堂 瀧田表具店)

※事業所名は、受講当時のものとなります。

カリキュラム

日程	カリキュラム	講師等
開講式 8/5(土)	オリエンテーション、座談会など	田辺市長、富山大学副学長ほか
2日目 8/19(土)	地域活性化論①～小さな拠点、新たな公、CSV～ ・地域活性化とは	富山大学地域連携戦略室長 教授 金岡省吾
3日目 9/2(土)	地方創生から考える地域課題と地域活性化 ・データから見る地域課題とは	(株)日本能率協会総合研究所 主幹研究員 塩見一三男
4日目 9/16(土)	田辺市の新たなまちづくりとビジネスチャンス ・大型プロジェクトに伴うビジネスチャンスは	田辺市長 真砂充敏
5日目 9/30(土)	世界遺産熊野古道の価値をビジネスチャンスに ・インバウンドのビジネスチャンスを探る	田辺市熊野TB 会長 多田稔子 美吉屋旅館 吉本 健(1期生)
6日目 10/14(土)	出汁(だし)による地域活性化 ・観光客の受入れと物販の好循環づくり	中原水産(株) 代表取締役 中原晋司
7日目 10/28(土)	地域資源を生かした新たな価値創造 ・熊野米プロジェクト、theCUE	(株)たがみ 田上雅人 タモリ舎 中村文雄、横田圭亮(1期生)
8日目 11/18(土)	津屋崎ランチの取組を通して ・討論から対話へ、常識を疑う、発明家の発想	津屋崎ランチLLP 代表 山口 寛
9日目 12/2(土)	超高齢社会ビジネスの可能性 ・地域包括ケア時代の生活支援市場を展望する	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 上席主任研究員 岩名礼介
10日目 12/16(土)	地域活性化論②～これまでの復習、CSV～ ・子育て世代の移入とビジネスの両立	富山大学地域連携戦略室長 教授 金岡省吾
12月	運営事務局による塾生へのヒアリング・相談 ・各1時間程度	運営事務局
11日目 1/6(土)	<演習①>一行コンセプト ・5分でのプレゼン&ディスカッション	運営事務局
12日目 1/20(土)	<演習②>三行コンセプト ・3分でのプレゼン&ディスカッション	運営事務局
13日目 2/3(土)	<演習③>中間プレゼン ・3分でのプレゼン&ディスカッション	運営事務局
修了式 2/18(土)	最終プレゼンテーション、修了証授与、座談会 ・3分でのプレゼン、ポスターセッション	田辺市長、富山大学副学長ほか



第3期

平成30年7月～平成31年2月

第3期生



稲垣 幸生
(酒味道楽 なじみ)



太田 有哉
(太田商店(太田うなぎ店))



尾崎 務
(ACE HAND)



小向 秀樹
(小向農園)



関根 真誉
(auショップ田辺新庄)



高橋 あいか
(ayato sound create/親子リトミック教室リトニコ)



初山 徹
(はつやま鮮魚店)



濱口 純
(アルティエ(株))



林 拓郎
(株)樹かげ



森川 真帆
(株)モリカワ



山中 崇嗣
(紀乃国工芸社)

※事業所名は、受講当時のものとなります。

カリキュラム

日程	カリキュラム	講師等
1日目 7/14(土)	導入講義 地域活性化論①～新たな地域づくり、CSV～	富山大学地域連携戦略室長 教授 金岡省吾
開講式 7/28(土)	オリエンテーション、座談会など	田辺市長、富山大学長ほか
3日目 8/11(土)	地方創生から考える地域課題と地域活性化 ・データから見る地域課題とは	(株)日本能率協会総合研究所 主幹研究員 塩見一三男
4日目 8/18(土)	田辺市の新たなまちづくりとビジネスチャンス 中心市街地で起こるイノベーション	田辺市長 真砂充敏 修了生
5日目 9/8(土)	世界遺産熊野古道の価値をビジネスチャンスに ・インバウンドのビジネスチャンスを探る	田辺市熊野TB 会長 多田稔子 美吉屋旅館 吉本 健(1期生)
6日目 9/22(土)	地域資源を生かした新たな価値創造 ・熊野米プロジェクト、地元で愛される酒「交」	(株)たがみ 田上雅人 (株)堀忠商店 堀 将和(1期生)
7日目 10/13(土)	小規模多機能自治の取組 ・10年後の地域の理想像を考える	南砺市南砺で暮らしません課長 市川孝弘 富山大学地域連携戦略室 定村 誠
8日目 10/27(土)	津屋崎ランチの取組を通して ・討論から対話へ、常識を疑う、発明家の発想	津屋崎ランチLLP 代表 山口 寛
9日目 11/10(土)	超高齢社会ビジネスの可能性 ・地域包括ケア時代の生活支援市場を展望する	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 上席主任研究員 岩名礼介
10日目 12/1(土)	地域活性化論②～これまでの復習、CSV～ ・子育て世代の移入とビジネスの両立	富山大学地域連携戦略室長 教授 金岡省吾
12月	運営事務局による塾生へのヒアリング・相談 ・各1時間程度	運営事務局
11日目 12/15(土)	<演習①>一行コンセプト ・5分でのプレゼン&ディスカッション	運営事務局
12日目 1/12(土)	<演習②>三行コンセプト ・3分でのプレゼン&ディスカッション	運営事務局
13日目 1/26(土)	<演習③>中間プレゼン ・3分でのプレゼン&ディスカッション	運営事務局
修了式 2/9(土)	最終プレゼンテーション、修了証授与、座談会 ・3分でのプレゼン、ポスターセッション	田辺市長、富山大学副学長ほか



第4期

令和元年7月～令和2年2月

第4期生



岡野 祐己
(チャイニーズ酒場 福福)



北川 雄一
(アスレティックトレーナー)



更井 亮介
(料理人)



鈴木 格
(鈴木ぶどう園)



鈴木 大輔
(南紀ガス(株))



坪井 直子
(有)ツガ井



中田 真寛
(有)中田



三浦 彰久
(株)Reborn



矢野 玲子
(baroonworkshop)



山崎 貴宏
(行政書士ABC法務研究所)



山本 有輝
(株)高垣工務店



和田真奈美
(南紀みらい(株))

※事業所名は、受講当時のものとなります。

カリキュラム

日程	カリキュラム	講師等
1日目 7/13(土)	導入講義 地域活性化論①～新たな地域づくり、CSV～	富山大学地域連携戦略室長 教授 金岡省吾
開講式 7/27(土)	オリエンテーション、座談会など	田辺市長、富山大副学長ほか
3日目 8/10(土)	地方創生から考える地域課題と地域活性化 人生参加型工務店	富山大学地域連携推進機構 塩見一三男 (株)高垣工務店 石山登啓(2期生)
4日目 8/24(土)	津屋崎ランチの取組を通して ・討論から対話へ、常識を疑う、発明家の発想	津屋崎ランチLLP 代表 山口 寛
5日目 9/14(土)	小規模多機能自治の取組 ひなたの山の物語	南砺市南砺で暮らしません課長 市川孝弘 (株)日向屋 岡本和宜
6日目 9/28(土)	田辺市の新たなまちづくりとビジネスチャンス 中心市街地のまちづくりを考える	田辺市長 真砂充敏 南紀みらい(株) 赤木靖人
7日目 10/19(土)	地域資源を生かした新たな価値創造・バリューチェーン ・熊野米プロジェクト、地元で愛される酒「交」、BOKUMOKUプロジェクト	(株)たがみ 田上雅人 (株)堀忠商店 堀将和(1期生) (有)榎本家具店 榎本将明(1期生)
8日目 11/2(土)	世界遺産熊野古道の価値をビジネスチャンスに ・インバウンドのビジネスチャンスを探る	田辺市熊野TB 会長 多田稔子 美吉屋旅館 吉本 健(1期生)
9日目 11/16(土)	地域活性化論②～これまでの復習、CSV～ ・子育て世代の移入とビジネスの両立	富山大学地域連携戦略室長 教授 金岡省吾
10日目 11/30(土)	超高齢社会ビジネスの可能性 ・地域包括ケア時代の生活支援市場を展望する	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 社会政策部長 主席研究員 岩名礼介
12月	運営事務局による塾生へのヒアリング・相談 ・各1時間程度	運営事務局
11日目 12/14(土)	<演習①>一行コンセプト ・5分でのプレゼン&ディスカッション	運営事務局
12日目 1/11(土)	<演習②>三行コンセプト ・3分でのプレゼン&ディスカッション	運営事務局
13日目 1/25(土)	<演習③>中間プレゼン ・3分でのプレゼン&ディスカッション	運営事務局
修了式 2/8(土)	最終プレゼンテーション、修了証授与、座談会 ・3分でのプレゼン、ポスターセッション	田辺市長、富山大学副学長ほか



第5期

令和2年8月～令和3年2月

第5期生



榎本 大志
(菓子工房HOCCO)



小山 葵
(株)onlyonebenefit



土井 隆司
(theCUE)



那須 一徳
(株)紀州童



野村 晃大
(紀州物産(株)/田辺自動車学校)



濱田 朝康
(株)濱田



松本 麻佐子
(G.WORKS・こすげパーク振興会)



松本 一寿
(松本農園)



森 智宏
(株)紀の国設備



山本 玲子
(公財)わかやま産業振興財団



横矢 雄一郎
(有)ワイズカンパニーギャル

※事業所名は、受講当時のものとなります。

カリキュラム

日程	カリキュラム	講師等
開講式 8/1(土)	導入講義 地域活性化論①～新たな地域づくり、CSV～	田辺市長ほか 富山大学地域連携戦略室長 教授 金岡省吾
2日目 8/22(土)	地方創生から考える地域課題と地域活性化 人生参加型工務店	富山大学地域連携戦略室長 教授 金岡省吾 (株)高垣工務店 石山登啓(2期生)
3日目 9/5(土)	田辺市の新たなまちづくりとビジネスチャンス 縁を結び交流と協働を生み出す拠点へ	田辺市長 真砂充敏 南紀みらい(株) 和田真奈美
4日目 9/19(土)	地域資源を生かした新たな価値創造・バリューチェーン ・熊野米プロジェクト、地元で愛される酒「交」、鰻と梅の仲直りプロジェクト	(株)たがみ 田上雅人 熊鷹忠商店 堀 将和(1期生) 太田商店 太田有哉(3期生)
5日目 10/10(土)	超高齢社会ビジネスの可能性 ・地域包括ケア時代の生活支援市場を展望する	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 共生・社会政策部長 主席研究員 岩名礼介
6日目 10/24(土)	小規模多機能自治の取組 地域課題解決と企業経営	南砺市南砺で暮らしません課長 市川孝弘 丸進商事(株) 塚田高史
7日目 11/7(土)	世界遺産熊野古道の価値をビジネスチャンスに ・インパウンドのビジネスチャンスを探る	田辺市熊野TB 会長 多田稔子 美吉屋旅館 吉本 健(1期生)
8日目 11/21(土)	空港型地方創生への挑戦 ・空港を起点とした地域経済の活性化	(株)南紀白浜エアポート 誘客・地域活性化室長 森重良太
9日目 12/5(土)	地域活性化論②～これまでの復習、CSV～ ・子育て世代の移入とビジネスの両立	富山大学地域連携戦略室長 教授 金岡省吾 舟橋村生活環境課長 吉田昭博
12月	運営事務局による塾生へのヒアリング・相談 ・各1時間程度	運営事務局
10日目 12/14(土)	<演習①>一行コンセプト ・5分でのプレゼン&ディスカッション	運営事務局
11日目 1/16(土)	<演習②>三行コンセプト ・3分でのプレゼン&ディスカッション	運営事務局
12日目 1/30(土)	<演習③>中間プレゼン ・3分でのプレゼン&ディスカッション	運営事務局
修了式 2/13(土)	最終プレゼンテーション、終了証授与、座談会 ・3分でのプレゼン、ポスターセッション	田辺市長 富山大学副学長ほか



第6期

令和3年7月～令和4年3月

第6期生



池永 純
(日本政策金融公庫田辺支店)



奥川 季花
(株)ソノベース



栗栖 恵
(ペンションあしたの森)



少名子 遼太
(同)Rebeen



苅野 允洋
(同)SOTSULOG



田中 和広
(株)日向屋/地域おこし協力隊



那須 建太
(株)那須中古車センター



新田 浩司
(STOCK OUTDOOR)



濱中 祐実
(浜中工芸)



前嶋 昭則
(やわらかワークス)



山西 秀明
(ヒロメラボ)



吉田 光利
(株)クラシアル

※事業所名は、受講当時のものとなります。

カリキュラム

日程	カリキュラム	講師等
1日目 7/17(土)	導入講義 地域活性化論①～新たな地域づくり CSV ソーシャルビジネス 魚津、高岡の地域課題解決への企業行動～	熊本大学熊本創生推進機構 教授 金岡省吾
開講式 7/31(土)	オリエンテーション、座談会など	田辺市長ほか 熊本大学熊本創生推進機構 教授 金岡省吾
3日目 8/10(土)	地方創生から考える地域課題と地域活性化 人生参加型工務店	熊本大学熊本創生推進機構 教授 金岡省吾 高垣工務店 石山登啓(2期生)
4日目 9/4(土)	田辺市の新たなまちづくりとビジネスチャンス	田辺市長 真砂充敏
5日目 9/18(土)	日常生活支援(小規模多機能自治・小さな拠点)とビジネスとの両立 地域課題解決と企業経営 お供養のなかた 地域の未来をみんなで創る	熊本大学熊本創生推進機構 教授 金岡省吾 丸進商事 塚田高史 (有)中田 中田真寛(4期生)
6日目 10/9(土)	超高齢社会ビジネスの可能性 ～地域包括ケア時代の生活支援サービス市場～	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 共生・社会政策部長 主席研究員 岩名礼介
7日目 10/23(土)	地域資源を活かした新たな価値創造・バリューチェーン ・熊野米プロジェクト、鰻と梅の仲直りプロジェクト、シェフが創る地域の 循環～地域の調理方法と未来設計～	熊鷹忠商店 田上雅人 太田商店 太田有哉(3期生) Restaurant Caravansarai 更井亮介(4期生)
8日目 11/6(土)	世界遺産熊野古道の価値をビジネスチャンスに ひなたの山の物語	田辺市熊野TB 会長 多田稔子 (株)日向屋 岡本和宜(1期生)
9日目 11/20(土)	空港型地方創生への挑戦(戦略編・具体事例編)	(株)南紀白浜エアポート 誘客・地域活性化室長 森重良太
10日目 11/30(土)	地域活性化論② 子育て支援と人口減少のメカニズム、 子育て支援とビジネスの両立～子育て共助のまちづくり・ ママビジネスの可能性～ 他	熊本大学熊本創生推進機構 教授 金岡省吾 (有)ツボ井 坪井直子(4期生) (株)onlyonebenefit 小山葵(5期生)
12月	運営事務局による塾生へのヒアリング・相談・ 各1時間程度	運営事務局
11日目 1/8(土)	<演習①>一行コンセプト ・5分でのプレゼン&ディスカッション	運営事務局
12日目 1/22(土)	<演習②>三行コンセプト ・3分でのプレゼン&ディスカッション	運営事務局
13日目 2/19(土)	<演習③>中間プレゼン ・3分でのプレゼン&ディスカッション	運営事務局
修了式 3/19(土)	最終プレゼンテーション、修了証授与、座談会 ・3分でのプレゼン、ポスターセッション	田辺市長、熊本大学副学長ほか



第7期

令和4年7月～令和5年2月

第7期生



稲垣 基
(旬彩居酒屋 膳)



榎本 けいこ
(Re-base organize)



大谷 栄徳
(株)中川/(株)はぐみ幸福)



加藤 綾
(W.story)



金 哲弘
(山里舎)



倉谷 夏美
(Natsumi Chatsumi)



庄司 豊
(株)横田)



田中 謙吾
(Partida hair)



堀部 剛史
(木ノ国製炭)



榎谷 由美
(起業予定)



山田 かな子
(株)TODAY)



山本 宗平
(山本農園)

※事業所名は、受講当時のものとなります。

カリキュラム

日程	カリキュラム	講師等
1日目 7/21(木)	導入講義 地域活性化論①～新たな地域づくり、CSV、魚津・田辺の地域課題解決企業行動～	熊本大学熊本創生推進機構 教授 金岡省吾
開講式 8/6(土)	オリエンテーション、座談会など	田辺市長ほか 熊本大学熊本創生推進機構 教授 金岡省吾
3日目 8/18(木)	田辺市の新たなまちづくりとビジネスチャンス	田辺市長 真砂充敏
4日目 9/5(月)	対話のまちづくり ～津屋崎ランチの取組を通して～	津屋崎ランチ 山口 寛
5日目 9/15(木)	地方創生から考える地域課題と地域活性化 ひなたの山の物語	熊本大学熊本創生推進機構 教授 金岡省吾 (株)日向屋 岡本和宜(1期生)
6日目 9/29(木)	空港型地方創生への挑戦(戦略編・具体事例編)	(株)南紀白浜エアポート 誘客・地域活性化室長 森重良太
7日目 10/12(水)	世界に開かれた持続可能な観光地を目指して BokuMokuプロジェクト	田辺市熊野TB 会長 多田稔子 (有)榎本家具店/BokuMoku代表 榎本将明(1期生)
8日目 10/27(木)	地域事例を知る バリューチェーン・サプライチェーン ・熊野米プロジェクト、鰻と梅の仲直りプロジェクト、シェフが創る地域の循環～地域の調理方法と未来設計～	柳たがみ 田上雅人 太田商店 太田有哉(3期生)、 Restaurant Caravansarai 更井亮介(4期生)
9日目 11/10(木)	地域活性化論②～子育て世代の移入とビジネス チャンスの両立～ 他	熊本大学熊本創生推進機構 教授 金岡省吾 (有)ツボ井 坪井直子(4期生) (株)onlyonebenefit 小山葵(5期生)
10日目 12/1(木)	超高齢社会の地域ビジネスの可能性 ～地域包括ケア時代の生活支援サービス市場～	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 共生・社会政策部長 主席研究員 岩名礼介
12月	運営事務局による塾生へのヒアリング・相談・ 各1時間程度	運営事務局
11日目 12/22(木)	<演習①>一行コンセプト 5分でのプレゼン&ディスカッション	運営事務局
12日目 1/19(木)	<演習②>三行コンセプト 3分でのプレゼン&ディスカッション	運営事務局
13日目 1/26(木)	<演習③>中間プレゼン 3分でのプレゼン&ディスカッション	運営事務局
修了式 2/18(土)	最終プレゼンテーション、終了証授与、座談会 3分でのプレゼン&ディスカッション	田辺市長、熊本大学副学長ほか



第8期

令和5年7月～令和6年2月

第8期生



榎本 絢子
(山長林業(株))



大垣内 喬也
(株)中川)



岡本 章克
(A-style(株))



皆瀬 雅也
(株)初山)



小谷 大藏
(尖農園)



小林 徹
(司法書士小林事務所)



鈴木 秀教
(鈴木農園・キッチンスー)



竹本 共子
(社会福祉法人和歌山県福祉事業団
南紀医療福祉センター)



橋本 涼平
(株)橋本林業)



花村 あゆみ
(同)志成
まごころサポート田辺くるむ店)



廣畑 将紀
(株)ReLIFE)



水本 真衣
(独立行政法人南和歌山医療センター)



柳原 理穂
(株)南紀白浜エアポート)

※事業所名は、受講当時のものとなります。

カリキュラム

日程	カリキュラム	講師等
1日目 7/22(土)	対話のまちづくり ～津屋崎ランチの取組を通して～	たなへ営業室 津屋崎ランチ 山口寛
開講式 8/5(土)	オリエンテーション、座談会など	田辺市長ほか 熊本大学熊本創生推進機構 教授 金岡省吾
3日目 8/19(土)	人口減少のメカニズムと地方創生 人生参加型工務店	熊本大学熊本創生推進機構 教授 金岡省吾 (株)高垣工務店 石山登啓(2期生)
4日目 9/2(土)	田辺市の新たなまちづくりとビジネスチャンス	田辺市長 真砂充敏
5日目 9/16(土)	人口減少から生じる地域課題とビジネスチャンス ひなたの山の物語	田辺市長 真砂充敏 (株)日向屋 岡本和宜(1期生)
6日目 9/30(土)	世界に開かれた持続可能な観光地を目指して ヒロメを広めたい～ヒロメのバリューチェーンと人材育成による海づくり	田辺市熊野TB 会長 多田稔子 ヒロメラボ 山西秀明(6期生)
7日目 10/21(土)	空港型地方創生への挑戦(戦略編・具体事例編)	(株)南紀白浜エアポート 誘客・地域活性化室長 森重良太
8日目 11/4(土)	地域事例を知る バリューチェーン・サプライチェーン ・熊野米プロジェクト、鰻と梅の仲直りプロジェクト、シェフが創る地域の循環～地域の調理方法と未来設計～	柳たがみ 田上雅人 太田商店 太田有哉(3期生)、 Restaurant Caravansarai 更井亮介(4期生)
9日目 11/18(土)	新たな地域づくり・子育て世帯の移入 Kids Exercise～田辺の子どもたちにスポーツの機会を！～ 働くをもっと自由に自分らしく～ファミ☆キャリー～	熊本大学熊本創生推進機構 教授 金岡省吾 (有)ツボ井 坪井直子(4期生) (株)onlyonebenefit 小山葵(5期生)
10日目 12/2(土)	超高齢社会の地域ビジネスの可能性 ～地域包括ケア時代の生活支援市場を展望する～	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 共生・社会政策部長 主席研究員 岩名礼介
12月	運営事務局による塾生へのヒアリング・相談・ 各1時間程度	運営事務局
11日目 12/23(土)	<演習①>一行コンセプト 5分でのプレゼン&ディスカッション	運営事務局
12日目 1/13(土)	<演習②>三行コンセプト 3分でのプレゼン&ディスカッション	運営事務局
13日目 1/27(土)	<演習③>中間プレゼン 3分でのプレゼン&ディスカッション	運営事務局
修了式 2/17(土)	最終プレゼンテーション、終了証授与、座談会 3分でのプレゼン&ディスカッション	田辺市長、熊本大学副学長ほか



第9期

令和6年7月～令和7年2月

第9期生



沖 将勝
(株)中川



北川 翔大
(きたがわ農園)



佐藤 孝
(同)KTW



鈴木 裕美子
(Ripple design)



田中 裕子
(寒川紙店)



玉井 有紀
(Kids Room あねもね)



中原 光奈子
(Oyakon Café)



中林 勇貴
(クリーンクラブ)



堀 友加里
(ゆかり整骨院)



峯上 良平
(一社)Gifted Creative



森重 良太
(南紀白浜エアポート)



山本 直与
(E-MOTION(株))



山森 康博
(山森農園)

※事業所名は、受講当時のものとなります。

カリキュラム

日程	カリキュラム	講師等
開講式 7/20(土)	オリエンテーション、座談会など	田辺市長ほか 熊本大学熊本創生推進機構 教授 金岡省吾
2日目 8/3(土)	導入講義 対話のまちづくり～津屋崎ランチの取組を通して～	たなべ営業室 津屋崎ランチ 山口 寛
3日目 8/17(土)	地方創生とは 人口減少のメカニズム 人生参加型工務店	熊本大学熊本創生推進機構 教授 金岡省吾 (株)高垣工務店 石山登啓(2期生)
4日目 9/7(土)	田辺市の新たなまちづくりとビジネスチャンス ひなたの山の物語	田辺市長 真砂充敏 (株)日向屋 岡本和宜(1期生)
5日目 9/13(金)	地域課題、縮小するまちとビジネスの両立 人と人がつながり、新しいことが生まれる拠点づくり 東彼杵の事例から	熊本大学熊本創生推進機構 教授 金岡省吾 (一社)東彼杵ひとこともの公社 森一峻
6日目 10/4(金)	子育て世帯の移入とビジネスチャンス 私の生き方 cocomamaの取り組み スポーツを通して元気な子供と街を育てる～コミュニティ・共助が武器になる～	熊本大学熊本創生推進機構 教授 金岡省吾 ココハレ株式会社 大島恵(魚津三太郎塾6期生) (一社)《創生スポーツアカデミー》松嶋純也(やつしろ未来創造塾1期生)
7日目 10/19(土)	世界に開かれた持続可能な観光地を目指して～熊野古道からKUMANO KODOへ～ BokuMokuプロジェクト	田辺市熊野TB 会長 多田裕子 (有)榎本家具店/BokuMoku代表 榎本将明(1期生)
8日目 11/2(土)	空港型地方創生への挑戦(戦略編・具体事例編)	(株)南紀白浜エアポート 誘客・地域活性化室長 森重良太
9日目 11/16(土)	地域事例を知る バリューチェーン・サプライチェーン ・熊野米プロジェクト、鰻と梅の仲直りプロジェクト、シェフが創る地域の循環～地域の調理方法と未来設計～	(株)たがみ 田上雅人 太田商店 太田有哉(3期生)、 Restaurant Caravansarai 更井亮介(4期生)
10日目 11/30(土)	超高齢社会の地域ビジネスの可能性	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 共生・社会政策部長 主席研究員 岩名礼介
12月	運営事務局による塾生へのヒアリング・相談・各1時間程度	運営事務局
11日目 12/21(土)	<演習①>一行コンセプト 5分でのプレゼン&ディスカッション	運営事務局
12日目 1/11(土)	<演習②>三行コンセプト 3分でのプレゼン&ディスカッション	運営事務局
13日目 1/25(土)	<演習③>中間プレゼン 3分でのプレゼン&ディスカッション	運営事務局
修了式 2/15(土)	最終プレゼンテーション、終了証授与、座談会 3分でのプレゼン&ディスカッション	田辺市長、熊本大学副学長ほか



修了生のその後



1～8期 ピックアップ事例

第1期



僕たちの畑は僕たちで守る 農人と森の番人プロジェクト

岡本和宜((株)日向屋)

農業者の高齢化や作付面積の減少、耕作放棄地の増加など、農業を取り巻く環境はますます厳しくなっています。特に鳥獣害については、年々被害が拡大しており、この地域課題を解決しないと自分たちの畑を守ることができないという思いから岡本和宜さん(前列中央)が中心となり、地域の若手農家で捕獲チームを結成しました。

また、獲るだけでなく、解体して食べるまでを一体的に取り組むことで持続可能な活動にしていこうと、食肉加工場の誘致やジビエ料理試食会、狩猟体験などの活動を通じて、鳥獣害という地域課題が地域資源へ、そして地域ビジネスへと変わりつつあります。
【受賞歴】農林水産大臣賞「令和4年度鳥獣対策優良活動表彰」他



第1期 第2期 第4期



Hoso backyard house -theCUE-

中村文雄((株)中村工務店)横田圭亮((株)横田)
田中弘志(土地家屋調査士田中事務所)鈴木大輔(南紀ガス(株))

田辺市の中心市街地は熊野詣の宿場町として栄え、江戸時代には30近い宿があり、多くの参詣者が宿泊していたと言われています。しかし、最近では紀伊田辺駅に降り立っても、熊野古道沿いの地域にすぐに向かうことが多いのが現状でした。

そのため、かつてのまちなかの賑わいを取り戻そうと、LLPタモリ舎を結成し、裏路地にある築80年の空き家をゲストハウス&シェアハウス&カフェバーの複合施設「the CUE」にリノベーションしました。

田辺市を訪れる観光客と移住者、地域住民がつながる(エンゲージメントする)拠点到したいという思いが共感を呼び、多くのコミュニティが生まれる心地よい空間となっています。



第1期



東京から龍神村へ移住 café、瓶詰食品工房、パン屋を開業

金丸知弘(食品加工・販売CONSERVA)

イタリアで料理やマーケティングを学んだ後、東京でシェフの経験を経て、2016年4月に東京から田辺市龍神村へ移住した金丸知弘さん。地域で収穫される少量多品目の果物や野菜を活用した無添加ジャム、イタリア仕込みのパンを製造販売する「CONSERVA」をオープンしました。

その後、龍神村に移住してきたクリエイターたちと連携したイベントを実施したり、近くの空き家を買取り、移住体験や企業研修に活用できる滞在型宿泊施設にリノベーションする取組にも挑戦するなど、地方での新たな暮らし方をカタチにしています。



第1期



人との交わりでできた日本酒「交」

堀 将和((株)堀忠商店)

熊野詣での玄関口として栄えた紀伊田辺。現在も交通の要となっており、当地域を訪れた人々に、地域の食材と一緒に味わって貰える日本酒がありませんでした。そこで地域の食用ブランド米「熊野米」を原材料として、県内の酒造会社や地元の多くのメンバーの協力のもとで、今までにない日本酒を製造することが出来ました。

また、熊野の森、水の保全の為に「どんぐりプロジェクト」にも参画し、自社でどんぐりの苗木を販売数量に応じて2年間育成し、熊野の山々へ還す取組を行っています。

【受賞歴】2018プレミア和歌山審査員奨励賞



第1期
第2期



あかね材(虫食い材)に光を BokuMokuプロジェクト

榎本将明((有)榎本家具店) 竹林陽子(Colographical)
中川雅也((株)中川)

木材価格の低下や林業事業者の減少により、枝打ちがされず枯れ枝が残ったスギやヒノキにスギノアカネトラカミキリによる食害が増加しています。こうした食害をおこしている木材は強度や品質には問題ないものの、見た目が悪いことから「あかね材」として安い価格でしか売れず、伐採も進まないという悪循環に陥っています。

そのため、市内の林業者、製材所、木工所、家具店、デザイナーなどの若手事業者がプロジェクトチーム「BokuMoku」を結成し、ありのままの素材の良さを生かした地域のものづくりに取り組んでいます。
【受賞歴】林野庁「間伐・間伐材コンクール2018」特別賞受賞



第2期



子どもたちが憧れる農業を目指して

野久保太一郎(十秋園)

農産物の価格低下により農業所得が低下し、その結果、農業の後継者が不足しています。

こうした課題を解決するため、魅力ある農家を増やし、次世代に農業を引き継いでいこうと、年間約30種類もの柑橘が収穫できるという自園の強みを生かして、地域の子供たちと一緒に「子どもマルシェ」を開催したり、地域の農産品加工場「きてら」や同期生で「焼きたてぱんD'oh!」を開業した浅賀由貴乃さんらと連携し、加工品開発や「地域コラボぱん」への食材提供など、子どもたちが憧れる農業を目指して活動しています。



第2期



食の安全と健康な鶏を追い求めて

石崎源太郎(とりとんファーム)

日本の畜産における飼料の9割以上が外国産を使用しており、安心安全な食を提供してほしいという消費者ニーズに応えられていない現状があります。

そのため、とりとんファームでは、これまで廃棄されていた身近な未利用食材を発酵して飼料に活用するとともに、近隣のしいたけ栽培施設から出る廃菌床を鶏小屋の発酵床に利用するなど安心安全な食の提供にこだわり続けています。また、手作りの鶏舎で平飼いすることで健康な鶏を育て、将来的には、養豚や加工品開発などにも取組の幅を広げていきたいと石崎さんの挑戦はまだ続きます。



第2期



「車」から「車」×「庭」へ 家庭のお悩みをワンストップで支援

登坂知広(アップライフ(株))

中心市街地では、空き店舗の増加や高齢化といった地域課題を抱えています。

ここに着目した登坂さんは、商店街の賑わい創出に寄与できればと、空き店舗で自身の強みである自動車販売のノウハウを活かして、車のことならなんでも相談に乗る、気軽に立ち寄れる自動車サポート事業を立ち上げました。

その後、地域の造園、植物・園芸雑貨販売会社を事業継承して、お客様一人一人の「車」と「庭」のお悩みをワンストップでトータルサポートする事業を展開しながら、定期的に修了生とコラボしたマルシェイベントを開催するなど、引き続き地域を盛り上げる活動に取り組んでいます。



第2期



田辺を好きになるパン屋 焼きたてぱんD'oh!

浅賀由貴乃(焼きたてぱんD'oh!)

たなべ未来創造塾を通じて地域のことが大好きになった浅賀由貴乃さん。駅前商店街の空き店舗を活用してパン屋を新規創業しました。パンを通じて地域を知ってもらいたいと「地域コラボぱん」として、同期生の野久保太一郎さんが栽培する多品種の柑橘を活用した季節のみかんパンなどを販売しています。他にも地域の子供たちに愛されワクワクする店づくりを目指し、落書きコーナーやキャンディを無料サービスする取り組みで、駅前商店街の賑わいに大きく貢献しています。令和4年8月には2号店のベーカリー・ブックカフェ「D2B CAFE」がオープンしています。



第2期



お仕事創造空間「シリコンBAR」

石山登啓((株)高垣工務店)

全国的に人口減少や少子高齢化などの様々な地域課題を抱えている中、田辺市では全国平均を上回るスピードで人口減少が進んでいます。特に、高校を卒業し大学進学や就職などで市外県外に転出する若者の社会減少が著しく、その要因の一つに「自分が働きたい仕事がない」ことが挙げられます。

そのため、石山登啓さんは、セミナーやワークショップなどを通じて、新しいことにチャレンジしたい人たちが集まる空間、交流する拠点を創出することで、自分たちの仕事は自分たちで作ろうと「シリコンBAR(知理混場)」を立ち上げました。



第2期



(撮影:金丸弘美)

空き家管理サービス「たなばん」

田中弘志(土地家屋調査士田中事務所)

田辺市の空き家率は18.5%。全国平均の13.9%を大きく上回っています。さらに、その空き家のうち52.2%が駅から2km以内の市街地に集中するなど、大きな地域課題となっています。(平成25年住宅・土地統計調査より)

しかし、老朽化された空き家がそのまま放置されていたり、「荷物が放置されている」「知らない人には貸したくない」などの理由から活用される空き家が非常に少ないというのが現状です。

そのため、空き家管理を受託することで、所有者との信頼関係を構築し、その後の活用につなげようと、2期生の田中弘志さんが中心となり、美装業者、司法書士とともに空き家管理サービス「LLPたなばん」を結成しました。





木を切らない林業へ 林業ベンチャー(株)中川の新しい山づくり

中川雅也((株)中川)

貿易会社や森林組合勤務を経て、林業ベンチャー(株)中川を設立。田辺市は市域の約9割を森林が占めるが、伐採面積の4割しか植栽されておらず、このままでは熊野の山を守ることができないという状況を目の当たりにし、耕作放棄地を活用しながら、地域事業者と共に地域のどんぐりを苗木に育て山に還す「熊野の森再生事業」に着手。自社・地域事業者が利益を生み出しつつ、山の再生にも寄与する持続可能な新しい山づくりがスタートしています。

また、自社開発運搬用ドローン『いたきそ』を活用した林業の省力化や、田辺市やみなべ町との災害時の物資輸送に関する協定を締結するなど、「(株)中川モデル」の林業が全国各地で展開されています。【受賞歴】令和5年度気候変動アクション環境大臣表彰大賞、令和6年度well-beingAWARD2025 GOLD 他



耕すシェフへ 「農家イタリアンsorriso」の挑戦

田上太輝(農家イタリアン sorriso)

自社農園で育てたこだわりの減農薬野菜や米、ハーブなどを使ったイタリア料理店を経営。2期生の一級建築士中島さんとコラボし、これまで活用されていなかった祖父のたばこ作業場をリノベーションして「農家イタリアンsorriso」を移転オープン。

地域の食材にこだわったメニューが豊富で、中でも同じく2期生の「とりとんファーム」石崎さんの卵を使ったカルボナーラは絶品。今後は、収穫体験やまき割り体験などのグリーンツーリズムを通じて、みんなで動かす農業を実践したいと田上さんの挑戦は続きます。



田辺で子どもを育てたいへ ーひとりじゃなくてみんなで育てようー

高橋あいか(親子リトミック&知育教室リトスタnico)

親子リトミック&知育教室を運営している高橋さん。高橋さんが注目した地域課題は出生率の低下。育児と仕事との両立が困難だったり、経済的不安、育児ストレスなど、子どもを産みたくても産めないという状況となっています。

しかし、ママとママがつながり、みんなで子ども育てる共助が生まれれば、出生率の低下という地域課題を解決できるかもしれない。そんな思いから、ママと子どものためのイベント企画、異業種との交流などを通じて、ママコミュニティを広げています。

「田辺でいい」から「田辺がいい!」へ。



食で育むコミュニティ ーレストランが地域にできることー

林拓郎(ベーカリーレストランKOKAGE)

林さんは、できるだけ地域の食材を使い、生産者の思いを料理で伝えようと、生産者が栽培した農作物を生産者自ら販売する農家マルシェと、その農作物を使った料理を提供するディナーを組み合わせ「よるマルシェ」などを実践。

現在は、ママの負担を減らしたいという思いから、出張料理人や料理教室などによる一人一人のお客様に寄り添う活動を行いながら、他の飲食店等とコラボしたスタンプラリーの開催や、イベントでのキッチンカーによる料理の提供、また、高校生向けの西洋料理実習など、食を通じた幅広いコミュニティの形成を目指して、林さんの挑戦はまだ続きます。



田辺市中心市街地に遊べるギャラリー をつくる「yuriisu project」

中山智文(atelierbobo)

田辺市中心市街地は、空き店舗の増加、人口減少や高齢化といった地域課題を抱えています。そのため、中山さんは、職人やクリエイターが集まる「遊べるギャラリー」をつくろうと「yuriisu project」を始動、商店街裏通りの空き店舗を活用し、ギャラリー兼CGパース事務所をオープンしました。

日常使いの椅子としてはまず使われない「揺り椅子」。けれども座ってみるとゆらゆら揺れて心地よく、自分の気分で揺れたり止まったり。人が集まり、出会い、会話が起り、ヒトやモノ、シゴトの循環が生まれる拠点を目指しています。



鰻と梅の仲直りプロジェクト 「紀州南高梅ひつまぶし」

太田有哉(太田商店／太田うなぎ店)

鰻業界は、漁獲量の減少による価格高騰で危機的な状況にあります。一方、梅の課題を見ると、規格外の商品は大きく値段が下がってしまっています。

こうした両方の課題を解決したのが「紀州南高梅ひつまぶし」。これまで食べ合わせが悪いと言われてきた鰻と梅が、最強の食べ合わせになりました。(令和元年度プレミア和歌山特別賞受賞)

さらに、これまで廃棄されてきた鰻の骨を肥料にして畑に戻し、廃棄される梅の木をチップにして鰻の燻製へ。鰻屋と農家によるコラボは止まりません。



「おや、こんなところで」が生まれる コーヒーとランドリーのお店

～Oyakon Caféとlaundry～

濱口純(アルティエ(株))

濱口さんの経営する「アルティエホテル」は紀伊田辺駅近くに位置し、多くの観光名所に囲まれたビジネスホテルです。ホテルを利用する人、近隣に住む人、偶然近くを通りかかった人、様々な人々が「おや、こんなところで」と誰かに出会える交流の場を提供するために、コインランドリーを併設したカフェ「Oyakon CaféとLaundry」を開店しました。店内には無線LAN、コンセント、プロジェクターなどの設備も整っており、コワーキングスペースやイベントでの利用も可能です。



農村地域に梅蔵をリノベーションした 本格フレンチをオープン

更井亮介(Caravansarai)

帝国ホテル、長野県のオーベルジュでフランス料理に従事。第1回ジビエ料理コンテスト(主催／国産ジビエ流通規格検討協議会 共催／農林水産省・くるなび)の鹿肉料理部門で最優秀賞を受賞した経歴を持っています。

チームHINATAの鳥獣害対策に携わることをきっかけにUターンし、1期生らが運営するゲストハウス&シェアハウス&カフェバー「theCUE」でシェフとして活躍。その後、農村地域・上芳養地区にある祖父の梅蔵をリノベーションして本格フレンチ「Caravansarai」をオープンしました。子どもたちにいただくことの意味を伝えたいと食育活動にも積極的に取り組んでいます。ミシュランガイド京都・大阪+和歌山2022掲載、ビブグルマン、ミシュラングリーンスター獲得



第4期



スポーツ用品店の2階をリノベーション ー子どもたちにスポーツの機会をー

坪井直子((有)ツボ井)

スポーツ用品店を営む坪井さん。しかし、少子高齢化により子どものスポーツ人口は減少しています。スマホやYouTube、ゲームなどの時間が増え、スポーツをする機会が減少することで、体力の低下につながっています。子どもたちの運動神経を発達させるためには、およそ4～8歳の時期にスポーツをして、体を動かす習慣をつけることが重要だといわれていることに着目し、店舗の2階をリノベーションして、コミュニティスペースを整備、4期生の北川さんと体操教室を実施するなど、健康で元気な子どもを増やす取組を進めています。



第4期



生きづらさを抱えた若者の仲間、居場所、仕事づくりへ 「TSUKASAハウス」

三浦彰久((株)Reborn)

就職活動時にうつ病を患い、その後、大手メーカーで働くも約10ヶ月で退社。生きづらさを抱え、5年間全国を転々としたあと、田辺市に移住しました。様々な人との出会いがきっかけとなり、今では、シェアハウス「TSUKASAハウス」をオープン。全国から生きづらさを抱えた若者や移住希望者・検討者を受け入れ、自分らしい生き方を見つけてもらう活動をしています。悩みを本音で語り合い、助け合える居場所づくりへ。自身が生きづらさを抱えていた時に欲しいと思っていたものを提供しようとしています。



第4期



災害対応型ランドリー「Qlilia」 ーカーボンニュートラル社会の実現へー

鈴木 大輔(南紀ガス(株))

鈴木さんが代表を務める南紀ガス株式会社は、「生活インフラを担う企業として、地域の暮らしを守る」をビジョンを掲げ、災害発生時には避難場所としても利用できる災害対応型ランドリー「Qlilia」を展開しています。ランドリー内には、災害に強いエネルギーとして注目されているLPガスを活用した非常用発電機が設置され、地域住民の安心にもつながっています。また、「カーボンニュートラルLPガス」を採用することで低炭素社会の実現にも貢献しています。



第5期



小さなケーキ屋さんがつくる スイート小コミュニティ

榎本大志(菓子工房HOCCO)

埼玉県から田辺市龍神村に移住し、洋菓子店「菓子工房HOCCO」を開業した榎本さん。修了生たちとコラボした新たな商品開発を進めています。また、人口減少が進む龍神村では、地域の方々が交流する場所が少ないことから、今後は、店舗前のテラス席や隣接する自宅の一室を地域の子供たちの誕生日会の会場として提供することや、地元小学校との親子お菓子教室の開催、また、フリーマーケットの開催などを通して、子育て世代から高齢者世代まで、交流を通した「小コミュニティ」の輪を広げていくことを目指しています。令和4年11月には2号店「atta café」がオープンしています。



第4期



泊まれるアトリエ

矢野玲子(baroonworkshop)

海外で広告代理店勤務、羊毛フェルトワークショップ作家及び講師として活躍したあと、龍神村に1ターン。空き家を活用し、泊まれるアトリエ「羊毛と植物クラフトbaroonworkshop」をオープンしました。矢野さんは、これまで廃棄されていた紀州材の端材や、龍神温泉美肌の湯などと羊毛フェルトを掛け合わせ、これまでにはないユニークな視点を取り入れることで、地域の魅力をリメイクしようとしています。現在は、薬膳アドバイザーとしての知識や中国在住時に身近にあった東洋医学にヒントを得て、羊毛クラフトとwell-beingを掛け合わせた新しいものづくりと暮らし方の発信をしています。



第4期



モドリゼノ宿 カラダのケア&コンディショニング×ゲストハウス

北川雄一(モドリゼノ宿)

大阪府出身の北川さんは、米国公認のアスレティックトレーナーの有資格者。プロバスケットボールチームの専属トレーナーを経て、家族との時間を大切にしながら仕事をしたいとの思いから、ゲストハウスを営むために田辺市本宮町に移住しました。宿の名前「モドリゼ」は、「戻=もとの状態にかえる(蘇生、再生する)」「ゼ(瀬)=出会う場所、機会」という意味の地名が由来となっていて、北川さんは、熊野の豊かな自然の中でトレーナーの知識を活かしながら、地域の人の健康増進と傷害予防ができる場所、旅行者が心と体をリフレッシュして新たな日常に戻っていきける場所、また来たくなる場所の提供に取り組んでいます。



第5期



ママとこどもがつながるサードプレイス「andiamo!」 ー「andiamo!」からママとこどもたちの明るい未来へー

土井隆司(andiamo!)

大阪市内の飲食店で働いていた土井さんは、地元田辺市に一家でUターン。コロナ禍の厳しい状況の中でも、「他の店にはない新しい価値を見出す」との思いから子育てに不安を抱える母親に着目し、親子で気軽に来られ、交流が生まれるイタリアンレストラン「andiamo!」をオープンしました。店舗2階にはキッズスペースがあり、子供連れでも親同士がゆっくり交流出来る空間で、料理も地元食材を使ったメニューに力を入れています。また、隣接する児童公園では同期の5期生によるイベントが開催されるなど、立地も活かした、親子をつなぎ、未来へつなげる「サードプレイス(第三の場所)」が注目されています。



第5期



「地域に愛され、世界を酔わせる」 和歌山発のクラフトリキュール

濱田朝康(榊濱田)

全国有数の梅の産地である田辺市で、祖父の代から梅の生産・加工販売業を営む濱田さん。田辺市の梅産業は、農家から加工、運送、販売、資材製造業など、地域の様々な業種が連携する構造のため、近年の梅産業の低迷が、業界全体に影響する危機感を抱いていました。そこで、傷物でも値段に影響しない梅酒への更なる活用を考えていたところ、修了生のみかん農家も同じ悩みを持っていることに気づき、協力して田辺産リキュール作りに取り掛かることに。地域の素材を活かしたりキュールを、地域の飲食店で楽しんでもらう。新たなバリューチェーンが生まれました。



第5期



働くをもっと自由に自分らしく ファミリーキャリアサポートプロジェクト 小山葵(株onlyone benefit)

ファイナンシャルプランナーとして子育て世代向けの講座や住宅購入相談、イベントの企画・運営などを手がける小山さんは、地域の子育て世代の減少の一因には働く場所が少ない上、子育て中の女性には育児と仕事の両立が難しい環境があることに着目。

そこで、子育て中の女性が働くことを全力で応援する「ファミリーキャリアサポートプロジェクト」を立ち上げ、「田辺で子育てしたい」「収入アップに繋げる」ための『ママ×働く』の環境整備に取り組まれています。

また、令和6年より「地域の子育てを楽にする」を目標に、一時預かり専門託児所もいもいを開業。

子育て世代に寄り添う小山さんの活動は広がりを続けています。



第6期



MODRINAE FOR BUSINESS 企業版戻り苗

奥川季花(株ソモノベース)

奥川さんは、高校生の時にふるさと那智勝浦町で紀伊半島大水害により被災しました。土砂災害を防ぐ森を守りたい、その思いから林業の世界へ踏み込んだ奥川さんは、日本中の誰もが山づくりに関わることが出来る社会、一億人が山と繋がるプロジェクト「MODRINAE」に取り組んでいます。

「MODRINAE」は植林に最適な苗木になるまでの2年間、家庭やオフィス、店舗など、協力が育て、森に返すプロジェクト。現在、全国100社の企業が協力してくれています。そんな全国各地で、大切に育てられた苗木が、田辺に里帰りしてきます。「MODRINAE」が豊かな森を育てていきます。

【受賞歴】林野庁・Spero「Sustainable Forest Action 優秀賞」、2022年「JAPAN WOOD DESIGN AWARD」受賞、2023年「ジャパンチャレンジャーアワード」グランプリ受賞他



第7期



田辺をPR

ー市街地紹介イラストマップー

稲垣基(旬彩居酒屋 膳)、加藤綾(W.story)、庄司豊(株横田)

田辺市には世界遺産である熊野本宮大社を目指す多くの観光客が訪れますが、そのほとんどは市街地での滞在が短く、より深く田辺市の魅力を知ってもらうことが難しい状況です。

そのことに寂しさを感じた稲垣さんは、自分にしかできないインパクトのある方法で田辺市を紹介したいとの思いから、同期生と共に自身が経営する居酒屋の壁一面に、特産品が購入できるお店や観光スポットなど、市内の魅力を詰め込んだイラストマップを描きました。このマップがきっかけとなり、観光客や地元の常連客などお客さん同士の交流が生まれていて、新たなコミュニティ形成の場となっています。



第7期



大斎原の景観を守る

金哲弘(株山里舎)

大阪府から田辺市本宮町へ移住した金さん。ゲストハウスを運営しながら、過去18年間の教師としての経験を活かし、「宿泊×体験×チームビルディング」を組み合わせた研修などを実施しています。

そんな金さんが取り組む世界遺産に登録されている熊野本宮大社の旧社地「大斎原(おおゆのはら)」の景観を守るプロジェクト。大斎原の周辺に広がる水田の風景は、素晴らしい景観として熊野古道の名所の一つとなっていますが、農家の高齢化により水田の維持が困難になってきています。

この景観を将来にわたり守っていくためにスタートしたこのプロジェクトは、農業体験を通して多くの関係人口の方々に自分事として関わっていただく中で運営されています。



第6期



ちょうどいいくるま

ーRecycline Used Carー

那須建太(株那須中古車センター)

祖父の代から自動車整備工場を営む那須さんは、中古の自動車を再利用し、短期間での利用が可能なりサイクルリースやレンタカービジネスに取り組んでいます。

「自動車のリサイクル」という自社の強みを活かした発想から、主な顧客である農家や土木業などの企業だけではなく、移住者や納車待ちの個人の方まで、「今、ちょっとだけ車が必要」な方の要望にリーズナブルに応えるこの取組は、持続可能な新しいレンタカービジネスの形です。

さらに、農繁期の農家に向けて軽トラックを貸し出すサービス「ファーマーズ・カーシェア」も計画しており、那須さんの新たな挑戦は続きます。



第6期



ヒロメのバリューチェーンの構築

ー高品質なヒロメの安定供給を目指してー

山西秀明(ヒロメラボ)

美味しいヒロメを広めたい。ヒロメラボを主催する山西さんは、田辺市の特産品であるヒロメ(ワカメと同属の海藻)を中心としたバリューチェーンの構築に取り組んでいます。

全国でもごく限られた海域で、2~4月までの間しか収穫できない希少なヒロメは、大きなうちわ型でやわらかくところみがあり、シャキシャキとした独特の食感が特徴。

このヒロメを地元の漁業者と共に育て、地元の飲食店で提供。残渣は肥料や飼料等の材料とすることで、地域資源のヒロメを余すことなく活用する。ヒロメから広がる取組で地域の水産業が元気になり、海に関わる人が増える。山西さんの夢は広がります。



第7期



おうちでママ美容師

ー前髪カットでコミュニティづくりー

田中謙吾(Partida hair)

子育て世代の母親にとって、家事などをこなしながら限られた時間の中で小さな子供を美容室に連れていくことが負担になっている家庭も多いのではないのでしょうか。

田中さんは、この課題を解決するため、空いた時間を使って簡単に出来る前髪カットの技術を伝える教室を無料で実施しています。この取組を通して母親同士のコミュニティも形成されていて、「前髪カットのまち田辺市」を目指す田中さんの活動はこれからも続きます。



第7期



田舎には「シゴト」がないを変える！

ー紀南の人事部ー

山田かな子(株TODAY)

山田さんは、「若者が出ていきやすい・居やすい・入ってきやすい和歌山を創る」という目標のもと、高校生・大学生向けに教育プログラムを提供しています。高校生に向けては、地元企業と交流しながら自身と地域の将来を考えるプログラム「START LINE(スタートライン)」を提供し、大学生に向けては、地域の経営者がやりたいけれど手を付けられていない事業など「新たなビジネス創出」に挑戦する「実践型インターンシップ」を実施しています。これらのプログラムのコーディネートを通じて、若者と地域のかけこい大人を結びつける取り組みを実践しています。



修了生のその後

第8期



建築の多様性

一次世代の建築スタイルー

岡本章克(A-style株)

所得や休日の不安定さ、技術を身に付けるまでの修業期間の長さが原因で大工を目指す若者は年々減少しており、ここ30年間で1/8にまで減少していると言われています。そこで岡本さんはこの課題解決につながるコンテナ建築に着目しました。

コンテナ建築では内装工事が主となり、天候にも左右されないことから工期が短縮でき、かつ木造建築よりも技術や経験を必要としないため職人へのハードルが下がり早期の人材育成に繋げることが出来ます。さらに、コンテナは移転が容易なことや家屋や店舗、防災用施設など、その活用方法は多岐に渡ります。

新たな建築スタイルを提供しながら、建築業界の担い手を育成していく岡本さんの挑戦は続きます。



第8期



共子toともに

安心して歩みを積み重ねられる居場所づくりーともねっこー

竹本共子((一社)ともに)

小児対象の言語聴覚士として福祉事業団に勤めていた竹本さんは、もっと一人ひとりに寄り添い、子供の家族を含めたケアに努めたいという想いから、「児童発達支援・放課後等デイサービス ともねっこ」を開業しました。

「ともねっこ」では、体験型の小集団親子療育や親同士の繋がりがもてる場づくり、保護者が子育てを前向きに楽しめる環境づくりに取り組んでいます。「ハンディーがある人もない人も集える場所を」、人口減少時代だからこそ必要な共助の場づくりに竹本さんは挑戦しています。



第8期



農業の3Kを1Kに

小谷大蔵(尖農園)

農業従事者の高齢化や担い手不足など、農業を取り巻く環境は年々厳しくなっています。作業がきつく、所得も安定しないことから新規就農者も少なく、そのために耕作放棄地も増加しています。

そこで、みかん農家である小谷さんは、一番の重労働である夏場の消毒作業の負担を軽減するため、農業用ドローンを活用した消毒作業の請負事業をスタートしました。地域の農業を守るため少しでも農家の力になりたい、小谷さんの取組は始まったばかりです。



第8期



まごころサポートってなんだ!?

ー心でつながる孫のようで心丈夫な何でも屋さんー 花村あゆみ((同)志成 まごころサポート田辺くるむ店)

超高齢社会である日本では、ちょっとした困り事を抱える高齢者が増加しています。花村さんは、そんな困り事の解決に取り組む有償ボランティアや「地域食堂」をはじめとした「地域の居場所づくり」等の地域コミュニティの創出と再生に向けた活動を行っています。そして現在は、地域の高齢者の生き甲斐づくりを目指した「街仲食堂byジーバーFOOD」の立上げに向けて準備中です。

高齢者や障害のある方も含め、誰もが分け隔てなく『自分らしく輝ける地域社会』を目指して、花村さんは全力で活動し続けています。



講師陣 & 運営スタッフ

地域の実情にあった地域内外の専門家や実践者を招聘し、専門知識の習得や事例研究を行うことで、ビジネスプランへのヒントを探っていきます。

講師陣



熊本大学副学長(地方創生・地域連携担当)
熊本大学 研究開発戦略本部
地域連携戦略部門 部門長
名誉教授(富山大学)
教授 金岡省吾



三菱UFJリサーチ&
コンサルティング(株)
社会政策部
主席研究員 岩名礼介



津屋崎プランチLLP
代表 山口覚



中原水産㈱
代表取締役 中原晋司



パーソルキャリア(株)
エージェンツ事業部
組織開発部
部長 玉井淳平



丸進商事(株)
福祉用具まるしん
代表取締役社長 塚田高史



一般社団法人
田辺市熊野ツーリズムビューロー
会長 多田稔子



(株)たがみ
代表取締役 田上雅人



パニラカフェ
芝ゆかり



(株)南紀白浜エアポート
誘客・地域活性化室
室長 森重良太

運営スタッフ



熊本大学副学長(地方創生・地域連携担当)
熊本大学 研究開発戦略本部
地域連携戦略部門 部門長
名誉教授(富山大学)
教授 金岡省吾



熊本大学研究開発戦略本部
地域連携戦略部門
准教授 尾山真



日本政策金融公庫田辺支店
支店長 山口賢治



日本政策金融公庫田辺支店
融資課長 森岡秀暢



田辺商工会議所 指導部
係長 濱田誠之



熊本大学研究開発戦略本部
地域連携戦略部門
客員教授
田辺市たなべ営業室
参事 鍋屋安則



田辺市たなべ営業室
係長 入口直史
(令和5年4月から)



田辺市たなべ営業室
主査 石野善之
(令和6年4月から)

事務局:田辺市たなべ営業室価値創造係
※所属や肩書などは令和7年7月現在のものです。
※敬称を略させていただきます。